

広報

かしわ

平成29年
(2017年)

4.1

教えて!

かしわの学校教育

別冊
特集

第3号

子どもたちを支えるたくさんの人

発行 柏市 〒277-8505 千葉県柏市柏5丁目10番1号 ☎(04)7167-1111 FAX(04)7166-6026 編集 広報広聴課

第3号

子どもたちを支えるたくさんの人

子どもたちが1日の多くの時間を過ごす学校は、学習活動に集中でき、安全で安心して過ごせる空間でなければなりません。3回シリーズ最後となる今号では、子どもたちがより良い環境で学校生活を送ることができるよう、子どもたちを支え見守る、たくさんの人たちを紹介します。

問い合わせ 学校教育課 ☎7191-7367

サポート教員

PTA・地域
ボランティア

外国語指導助手
(ALT)

学校医
学校歯科医
学校薬剤師

理科教育支援員

栄養士・
給食調理員

高柳小・中学校の
児童会・生徒会の皆さん

この「教えて! かしわの学校教育」(P1~4)は抜き取ってお読みください



この人だあれ? ~子どもたちの学校生活を支えるいろいろな人たち~



分かる喜びを高める

サポート教員

- 授業や放課後補習に担任の先生と一緒に入り、理解につまずいている部分を個別にサポートし、子どもたちの理解につなげます
- 少人数指導や習熟度別指導の授業で、担任の先生と一緒に教えたりもします



▲柏第五中学校での数学の授業

好奇心・探究心を刺激する

理科教育支援員

- 理科の授業で行う実験や観察が、安全かつスムーズに進められるよう、器具等の準備をしたり、予備実験を行ったりします
- 実験や観察がより魅力的になるよう、担任の先生と一緒に工夫をして授業の充実を図ります



▲田中小学校での理科の授業

学校は、先生だけではなく、子どもの学びをより豊かなものにするために市が独自で採用する教員から、PTA や地域のボランティアの皆さんまで、たくさんの人が「チーム学校」の一員として関わり、運営されています。その中から、いくつかの「支える人」を紹介します。



発育と健康を見守る

学校医・学校歯科医

- 【学校医】**
- 内科・耳鼻科・眼科の定期検診や就学時の健康診断を行い、子どもたちの健康状態を確認します
 - 学級閉鎖の実施や学校で病気やけがが発生した時に、学校に助言をし、適切な判断・処置につなげます
- 【学校歯科医】**
- 歯科健診や就学時の健康診断を行い、子どもたちの歯の状態を確認します
 - 子どもたちに、歯・口の健康に関する講話や歯みがき指導を行い、歯・口の健康を保つことへの意識を高めます



▲松葉第一小学校での耳鼻科検診



▲柏の葉小学校での歯科健診

学校の環境衛生の番人

学校薬剤師

- 飲料水・プールの水質や教室の空気・照度などの検査を行い、必要に応じて、衛生環境維持のための助言を学校に行います
 - 給食室や配膳室の衛生検査を行い、安全に学校給食を提供できる環境であることを確認します
 - 薬物乱用防止や喫煙防止に関する授業の講師を務め、子どもたちの健康を守る意識を高めます
- ※貯水槽経由の給水のため、水道水を水源としても、水質検査を行います



▲中原小学校での飲料水水質検査

生きた英語+異文化への理解を深める

外国語指導助手 (ALT)

- 小学5・6年生中心の外国語活動や中学校の英語の授業で、担任の先生と一緒に教え、ネイティブの英語に触れながら学ぶ授業を実現します
- 出身国は世界各国(アメリカ、オーストラリア、フィリピンなど)で、異文化への理解を深める機会を作り出します
- 英語で伝え合うことを通して、コミュニケーション能力の育成を図ります



▲柏第一小学校での外国語活動の授業

学校での「食」を全面サポートする

栄養士・給食調理員

- 【栄養士】**
- 「食育の生きた教材」となる献立を作ります
 - 食材の発注と管理、給食調理員への調理指示を行います
- 【給食調理員】**
- 見た目にも楽しくおいしい給食を目指し、朝早くから調理をします
 - 食器や調理器具を衛生的に管理し、安全な給食の提供に備えます



▲中原小学校の給食調理室

「ダメ! ゼッタイ!」が合言葉! 薬物乱用防止教室

子どもたちが薬物の有害性、危険性に関する正しい知識を学び、自分自身の健康は自分で守るという気持ちを作るきっかけづくりとして行っている教室です。授業講師として、学校薬剤師さんをはじめ、地域の団体などに協力をいただいています。



▲中原小学校で行われた同教室

池田 景悟 先生 (高田小学校・教務主任)

算数の学習では、サポート教員が加わり担任と2人体制で指導にあたっています。そのため、悩んでいる子どもをいち早く見つけ個別に支援できることで、子どもたちは授業の時間内に分らない点を解決できることが増え、意欲の向上につながっています。学習面以外でも、子どもたちがさまざまなことに頑張る気持ちを作り出しているのが、PTAや地域のかたがたとの関わりです。こうした交流により、子どもたちは感謝の気持ちや活動に積極的に関わろうとする意欲を確実に育んでいます。



蘇理 冬馬 先生 (柏第五中学校・研究主任)

学習に多くの先生が関わることは、学びの多様化につながっています。例えば、「数学のレポートをまとめる」という課題に対しても、参考文献の選書やレポートのまとめ方、パソコンを使って発表資料を作るときなど、それぞれ教科担任以外の専門知識を持った人から学ぶことで、数学以外に広がりが出ています。こうした学習から、子どもたちは受け身ではなく、自分たちで考え、友達同士でも学び合うなど、能動的な姿勢が多く見られるようになりました。



子どもたちは

- 先生が2人いると質問しやすくて助かります。そばに来て分かるまで説明してくれるので、うれしいです。(柏五中・2年)
- 休み時間にも理科室へ行って、支援員さんと理科の話をしたり、分からないところを教えてもらったりするのが楽しみです。(高田小・4年)
- 英語で話したり活動したりする授業は毎回ワクワクします。外国にも行ってみたいと思うようになりました。(柏一小・5年)

心強いサポーター

PTA・地域ボランティア

- 登下校の見守り、校庭の草取り、花壇整備、校内清掃など、多方面で学校を助けています
- こうした活動を通して子どもたちや学校との関係を深め、温かく見守っています



▲高田小学校でのPTAボランティア活動

ご存じですか? 「交通安全推進隊」

千葉県が、県民一人一人の参加によって「交通安全県ちば」を実現するために設けている制度で、県に登録したボランティアさんが、通学路での交通安全の監視や保護、誘導等を行っています。柏市では3月現在、64団体317人ものかたがたが、子どもからお年寄りまでを交通事故から守る活動に取り組んでいます。◎詳しくは県のホームページで



▲高柳小・中学校周辺での見守り活動

子どもたちをいじめから守る取り組みにも力を入れています!

いじめが大きな社会問題となった平成25年、いじめ防止に関するさまざまな法律が定められました。これを受け、市では「柏市いじめ防止基本方針」とともに、全市立小・中学校で「学校いじめ防止基本方針」を定めるなど、全市をあげていじめ防止対策に取り組んでいます。

サイバーパトロール

子どもたちのスマートフォン所持が急増する中、SNS等がきっかけとなるトラブルが増えました。こうしたトラブルを未然に防ぐために、学校非公式サイトや裏サイト、ツイッターなどのSNSを定期的にパトロールし、いじめの早期発見、早期対応につなげています。



▲ネットをパトロールして、問題のある書き込み等がないかを確認します

いじめ防止に向けて

いじめがネットの中で行われている現在では、いじめの早期発見、早期対応といった取り組みだけではなく、いじめを未然に防止することを目的とした取り組みも重要であると考えています。そこで、いじめの認知件数が最も多い中学1年生を対象に、「いじめにどう向き合うか」について考える授業を行いました。この授業は千葉大学の藤川大祐教授と連携し、ドラマ仕立てのビデオ教材を活用するなど、子どもたちも取り組みやすいものとなっています。この授業に対する子どもたちのアンケートなども参考に、今後の検討につなげていきます。



▲柏第三中学校で行われた実証授業

まだまだいる! 「チーム学校」の一員

今号や本紙3月1日号別冊で紹介した学校図書館指導員のほかにも、次のような人々が、先生たちと協力しながら、子どもたちの学校生活や学校運営を支えています。

- スクールカウンセラー** いじめや不登校などのさまざまな悩みの相談に応じたり、心のケアを行います
- スクールソーシャルワーカー** いじめや不登校など、学校でのいろいろな困りごとを抱えている子どもと家族を支えたり、学校を中心とした子どもを取り巻く環境に働きかけを行います
- 教育支援員** 学習や生活の面で特別な支援を必要とする子どもたちの活動をサポートします
- 学校用務員** 校舎内外の清掃や樹木・花だんの手入れ、施設の補修など、子どもたちが安心して学習できる環境を整えます
- 学校事務員・事務補助員** 学校の予算に関わる事務や行事の補助、電話の対応など、学校運営が支障なく進むための根底を支えます

柏の 学校教育 TOPICS

次期学習指導要領の改訂案が公表され、これまでのさまざまな活動に加えて、学習指導要領を見据えた取り組みも動き出しています。ここでは、柏の学校教育に関する平成29年春のトピックスをお知らせします。

いよいよプログラミング授業が始まります



平成32年度から小学校で必修化されるプログラミング教育。柏市は、全国に先駆けて今年度より全小学校で実施します。

昨年度、先行実施した3校287人の児童からは、「楽しかった:99%」「ふつうの授業の時より真剣に考えた:89%」との回答がありました。柏市のプログラミング教育は、楽しく、思考力を育てる授業を目指していきます。

また、3月下旬には、NHKの番組で柏市のプログラミング教育の取り組みが紹介されるなど、柏市の取り組みは全国的にも注目が高いものとなっています。

◎NHKの番組は、インターネットで見ることができます。

「こんな使い方あったのか! 第2回 NHK for School アワード」



▲番組の撮影は酒井根小学校で行われました

番組ホームページ▶

エアコンの整備を始めます



エアコンが整備されていない全市立小・中学校の普通・特別支援教室、理科・図書・音楽・パソコン室等の約1,500室に、エアコンをリースにより整備します。平成30年度から使用できるよう、今年の夏休み以降、順次設置工事を進めていきます。

今までは、教室によって夏の気温が30度を超えることもあり、小まめな水分補給や扇風機などで熱中症対策を行っていましたが、エアコンの整備により環境が大きく改善され、意欲的に学習に取り組む姿勢や、環境に配慮した生活を考える学習での実物大の教材としてなど、エアコン整備がもたらす幅広い効果を期待しています。



▲このようにエアコンが設置される予定です



新設中学校の校名が「柏の葉中学校」に決定!



平成30年4月に開校する柏北部中央地区新設中学校の校名について、平成28年11月15日から12月15日まで校名案を募集しました。その結果、応募総数62件の中で最も多かった「柏の葉中学校」に決定しました。

校名案にたくさんのご応募をいただき、ありがとうございました。



◀柏の葉中学校の完成予想図

▲隣接する柏の葉小学校とは、道路上空の連絡通路で行き来できます



小学校での教科「英語」の開始に向けて



平成32年度に改訂される学習指導要領では、英語教育も大きな転換期を迎えます。特に小学校における英語の教科化に向け、学校現場にも充実した準備体制が求められます。

そこで市では、先生がたを対象とした研修の内容を充実させていくとともに、新たに、日本人で英語が堪能な外国語活動支援員を、小学校へ順次配置していきます。

従来の英語を母国語とする外国語指導助手 (ALT)に加えて外国語活動支援員を学校へ派遣することで、第2言語を習得した好モデルとして、子どもたちのあこがれの存在やお手本になることに期待しています。

引き続き、英語を通して国際理解や児童生徒のたくましいコミュニケーション力を伸ばしていけるよう、検討・取り組みを進めていきます。



▲現在は外国語活動として、英語に慣れ親しむ内容が重視されています

別冊で紹介してきた内容が映像で見られます!

4月1日から放送される市広報番組「カシケン」では、これまで本紙(別冊)で3回にわたり紹介してきた内容を、映像で見ることができます。

<カシケンで取り上げている内容>

- ICTを活用した授業・プログラミング授業 (2月1日号で紹介)
- 学校図書館での調べ学習 (3月1日号で紹介)
- 学校給食と栄養士 (今号で紹介)

そのほかにも、改修の進むトイレや明治時代の寺子屋の名残などを紹介しています。ぜひこの機会に、映像で別冊3回シリーズをおさらいしてみてください。



◀ホームページでの視聴は4月2日(日)から

子どもの笑顔をお願い

柏市教育長 河嶋 貞



薄暗い体育館で子どもたちが思いのままに影遊びをしている。友達の大きな影、リボンの波打つ影、子どもたちは夢中で何かを発見しようとしている。やがて先生の声で子どもたちは前を向き、発見を言葉に変え友達に伝える――。

「わかった」「できた」「伝えた」、この笑顔をお願い、担任をはじめ多くのスタッフでチームを成し、さまざまな場面で子どもの学びを支え、見守っています。このチームには、保護者や地域の皆さんも欠かせない一員です。学校や子どもたちに関わってくださる多くのかたがたに感謝し、これからも「ふるさと柏の人づくり」を大切に、子どもたちを育てていきたいと思ひます。